

本のことを学んで  
板柳北小学校 四年 三上 奈緒

『子ども司書養成こうざ』を、終えて、わ  
たしは、すぐたくさんのかんことを学び、もつ  
と本のことが好きになりました。  
はじめのころは、むずかしいなあ、続けて  
いけるかなあ、と思います。が、先生や友  
だち（めいさん）が、分からないことを、お  
しえてくれたのおかげで、今までのことは、全  
部分かっていきます。

青森県立図書館では、本の置き場のこと、  
プラネタリウムを観らんでは、夏の星ざのこと  
などが分かりました。帰りに食べたアイスも  
おいしかったです!! あと、その1日で、同じ  
子ども司書の人たちと、少しなかよくなれた  
んじゃないかなあと思っっています。

ブックスタンド作りでは、初めは、むずか  
しかったです。なれてくると、うまくできまし  
た。家でも作って、学校の図書室の先生に、

あげたら、かざってくれました。  
後半に入り、読みきかせの練習が始まりま  
した。わたしは「ぼくのくれよん」という  
「大がた絵本」を読むことにしました。（絵  
本もあります。）はじめ、本をめくる早さや、  
読むスピードなどが、うまく、つかめなかつ  
たのですが、少しずつ練習して、丁度いい早  
さで読めるようになりました。・・・が、本  
番当日、かぜで休んでしまいました。  
「家読りレコー」では、図かん？から物語ま  
で色々なしゅるいの本を、読みました。時々  
お母さんとも読みました。「めがねどろぼ  
う」のお話で、「めがね屋さん、頭を使うね  
え」と、感想を、言い合って、読みました。  
おもしろかったです。  
来年も『子ども司書養成こうざ』に入って  
またたくさんの本のことを習いたいです。次  
に入ってくる、4年生にも、いろんなことを  
おしえてあげたいです。